

バストス週報

第八四六号
昭和四十一年十一月二十五日
発行
DIRETOR KOITI MORI
REDATOR SHION ODA
RUA. PRES. VARGAS, 128
C. POS. 112
FONE 40 BASTOS C. P.
ANUAL EN 1967 GR # 5.060

青嵐 45
敵愾心 (A HOSTILIDADE)

共産国と民主国とが今日のように武力で勝負しなければならぬとする、国際紛争は永久に、その根を断たぬこととなる。

今、世界の耳目を大きく引きつけている越南の南北抗争に北米が割込んで、武力で北のホーチミンを沈黙させようとして、中共やソ連が後方で応援している。限り容易に喧嘩は止まず、国内紛争にこまよせて米はベトナムを侵襲するをやめ一日も早く撤兵しろという。米も四十万からの大軍を派遣している手前、そんな抗議くらいで引込むわけにはいかぬ。

冷静に批判して米国の出兵は、北南の争いも他国の国内紛争に介入するのは国際情宜の上から見ても不可何れである。朝鮮内戦の時、米軍は南朝鮮に駐留して、北から北の侵襲に対して南朝鮮を助け、中共は北朝鮮を助けてどえらい戦争に発展してしまつた。

この戦争も原因は共産、民主、の抗争であつた。その外、東西ベルリン、キエフ、ドミニカ、何れも例外なく共産、民主陣営の武力対立である。

その対立に對しては、双方から出兵し合つていては世界中は年中戦争におびえさせなければならぬ。現状である。民主国が赤化することはあつても、共産国が白化する事は稀である。否、そういふ例はこれまでにながったようである。それがなるとは、民主国の本家アメリカがやっつきになつて、共産侵襲をくい止めようとし、莫大な費用を投入して赤化防止に大重なるのである。が、これまでは大体民主側の希望の通りに解決する例が多かつたが、赤解決の大作にベルリンがあり、目下噴火中のベトナムがある。

第二次世界大戦までの幾多の戦争は、相手国との利害問題だけが国際紛争の原因となつて来た。大戦以後の国際紛争は、領地を奪うとか、資源を占めようとか、争うことは、二の次で、赤か白かの争

HOTEL USSAMI

御泊りと御食事は
宇佐美へ

ブラジル料理
日本料理



御仕出しと
御宴会に

バストス ロードビアリオ前

らさみ

電話 二十二

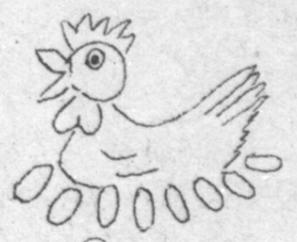
Sapataria Bastos FONE 55

高級皮革
製品は
早川靴店
ハマカワ



電話 五五郵画一九五

いに変つて来たのは注目値する。世界中の国々が全部赤化してしまふか白化してしまふか思想戦は絶滅するかも知れないが、今日の如く赤白対峙し、敵愾心を以て睨み合つて居るのは、ことあるごとに両大陣営が介入し、世界大戦の勃発に火の手を注ぐことになる。現に北ベトナムは同種南ベトナムをにくむ以上にアメリカを憎んでいる。米帝をやっつける直は死ぬ迄戦えと、



トリミックス

○卵価の上昇にそなえて、今すぐトリミックスをお使い下さい。

○トリミックスは給餌しはしめてから二週間たちますと、早くも効果があらわれます。

○今年は、養鶏家はトリミックスで勝負。

○トリの病気予防と治療にサナミックス

コリーザ・カゼ・コレラ・チブス等の予防と治療に

TORIMIX SANAMIX

1 e 2

聖市シビエール・トレド街二六六番十三階一三二号室

ジーサナ家畜製菓会社

日本人部代表 藤本 敦

バストス
アルタパウリスタ
ワロカバナ
代理人 丸山 敦

小説

目屎歯屎 (勝ち負け物語) 十

外務省公報読後感 A

「信念か狂信か」の一文は当時十部位筆
寫して、多くの人に読んで貰ったが、当
時印刷の法方がなかったので週覽本とし
た。

勿論戦勝て固まった人の目にも触れた
ことと思ふが、多少の反響はあったと思
う。

毎日のようにC区とかE区とかの青
年達の訪問を受け、中には敗戦論などき
く耳もたぬと及び身で去う人もあったが、
「お互に所信を語り合おうではないか、
材料を集めて、その集積の上の成果を報
告し合おうではないか」敗戦の宣伝だなど
と、つまらぬいがかかりはやめてもら
いたい。と相手を取得さすことに努めた。しか
し、何しろ終戦一ヶ月そこそこのことだ
から、ずいぶん荒い言葉でのしられる
こともあった。

次に起草したのが表題の「外務省公報
読後感」である。この内容は、たしかE
区の会館や、青年団本部で対談した時材

料としたものである。何んでもかでも皇室に結びつけてしや
わぬ事には、袋だたきにあいかなない空
気であつた頃のことである。

「薄紙を剥ぐように」直相が判つてくる、
八月十五日より既に二ヶ月以上を経過
して居るので識者には一月一日と母國の
姿が、はつきりして来た。夜明の風景で
ある。

だんだん物の形が判然として、もう丘
も森も建物も、それぞれ像影を明らか
にし出した。

吾々が時局に対する認識は特定の人の
を除いて、不幸にも大体誤りなかつたこ
とは遺憾千万であるが、今回外務省公報
の入電により確定的なものとなつた。
外務大臣のメッセージを見て正直なと
ころ、その余りに淡々たる文章、失望とも
喜悅とも感動とも不満とも、言ひよう
のない一種の感慨を受けた事を白状する
の、勿論「敗戦」「降伏」等の文字は、そ
の片鱗だになく、只「日本人タルノ誇り
ヲ堅持シテ難局に直面スルノ決心ヲ固メ
タリ」と恰も、此の一端のみを見るとき
此れから戦に参加する者の気概を見ると
云うまでもなく、ボツダム條項を忠実

に覆行することには戦争に臨むより或は
 数倍の困苦と勇氣を必要とするのである
 うが、母国日本の実相を見ていないので
 撃的なた階下の大御心を奉獻し、すべ
 てを天皇に帰一し奉る事によつて報導の
 要を具してゐるのみである。
 外務省公信の入手経路に關しては在聖
 市著名諸氏の説明で、充分了解されるが
 不審に思われるのは所費日数が意外に
 多い事である。
 八月十四日東京登瑞典赤十字本社着の
 日数は不明だが、本社からアルゼンチン
 支部に電送九月二日とあるから、此の間
 十九日を要してゐる。
 次にアルゼンチンからブラシル支部に
 野送九月廿九日リオ支部着、此の間二十
 七日を要してゐる。リオからサンパウ
 ロへ廻送十月三日、日本人代表へ入手し
 たので通計五十日を要してゐる。
 戦時中又は停戦直後の国際通信の不活潑
 によるのであらうか。
 此の辺の説明が判然とすれば尚一層、
 意義深いものがあるように思う。
 外務省公報は前述の如く頗る簡單な文
 面であるが、停戦に關する御詔勅によつ
 て、すべてを了解せよとの意味であるか
 ら以下少く拝読手引といふ意味を以て
 私の手誦感を述べて見たい。
 ○詔書 皇室ノ大專及大權ノ施行ニ關ス
 ル勅旨ヲ認メタル文書
 ○勅書 勅命ヲ認メタル文書
 ○勅語 天皇が大權ニ基ツキ機關ノ參典
 ヲ俟タズ親ラ臣民ニ對シ御發表
 アラセラルル御意志表示
 ○詔勅 詔書ト勅書ト
 停戦に關する御詔勅は去る八月十五日の
 才、エスタド紙に記載されたが、それは
 數氏在伯邦人によつて翻譯された。詔文
 は八月末頃我々の目にも触れたのである
 。今回外務省より在外同胞へ電送された
 詔文は佛文で在聖市宮腰氏の自信ある翻
 訳になり、詔文として立派なものである。
 新聞記載翻譯と雖も、字句、用語、配
 列等多少の見劣りはあるが、その内容に
 於ては、殆ど差がある事なく、決して作り
 物でなかつた事が明になつた。
 畏くも新聞記載の詔文だといふだけの
 理由で一部の人々から「信じがたい物し
 として納得を拒否されたが、今回の詔文
 によつて決して「ニセ物」でなかつた事
 が証明されたわけである。
 天皇御親政の思想によると、吾々日本
 人は天皇直屬の臣民であり、天皇の御意
 志によつて行動しなければならぬのであ
 る。

CASA CRISTAL

ローザ硝子製品
 台所道具
 アルミ製品一切
 バンデーシマ類
 プレゼンテ用に適當な品が
 いろいろ用意してあります。
 ジョーゴ デ ジマントー
 ジョーゴ デ レフレスコ
 ジョーゴ デ シマー
 ジョーゴ デ カンエー
 ロードビオオ筋向
 カーザ クリスタール
福 森 商 店
 ルア ツツケ デカシマス

SUPERGAZ

御しらせ
 バッパンのスペルガス配給所より
 バストス出張所を定める迄
 当分の間
スペルガス配給
 いたします
 バストス内 **阿部五郎**

バストス名物 フランゴ

シユラスコ用
 カザメント用
 御宴会用
 家庭料理用
 何れ市内に販売店を設けますが、御入
 用の節は工場までお出下さい。
 毛羽を斜く手数のかからないフランゴ
 を一羽でもおわけいたします
 フリゴリアイユ

ブラガンダ商会

CASAS PERNAMBUCANAS

年末奉仕

南米最大の組織を誇る

カーサスペルナンブカーナス

バストス支店

豊富な新入荷
びっくりする安値

ナタールお正月のプレゼンテに!

御利用下さい

ライーゼ ボルダド・テルガール リンニヨ

ライーゼ シンチランテ レンダス

これまで店になかったノビダーデの反物が
バスタンテあります



の争を考えて見たいものである。以下少しく御詔勅の内容に含まれている御言葉を見えぬが、「停戦」を帝國が承諾した点は、吾等が判断すべき重要なポイントである。

「爾等將兵海陸二勇戦力闘し、國務ニ携ワル者精勵努力シ、銃後一億國民モ亦克ク奉公ノ誠ヲ致セシモ、戦況ハ心ズシモ我ニ利マラス、世界ノ大勢モ亦帝國ニ非ナリシ、世界ノ日本は盛に戦勝を續けて居た筈なのに、どうした事であるか。

日本開戦以来日本軍の擧げた戦果は、ラジオを通じて其の都度詳細発表され、時々重要失陥もあつたが、大体に於て、吾々は考えていたものである。今は大敵米國は大きな回体を投げ出し、和を乞うてあるかと考えて居た。

何等祖國の急に協力もせず、(事實は不可能であつたのだが)比較的安樂な生活をつづけ、而も飛んでもない錯覚に陥つていた事は事情止むを得ずとするも今とてある。(以下次号)

予ねて七月中旬敵聯合軍英米ソ三巨頭で會議が統行され、八月十日前後より我國へ重大なる提議を爲したのであるが、其の條項は甚だしく屈辱的であると報導した。

「北米合衆國、大ブリテン國、支那、ソヴィエト聯邦、二対シ帝國が右諸國共同宣言ノ條項ヲ受諾スル旨ヲ通告セシムタリ」

予ねて七月中旬敵聯合軍英米ソ三巨頭で會議が統行され、八月十日前後より我國へ重大なる提議を爲したのであるが、其の條項は甚だしく屈辱的であると報導した。

「北米合衆國、大ブリテン國、支那、ソヴィエト聯邦、二対シ帝國が右諸國共同宣言ノ條項ヲ受諾スル旨ヲ通告セシムタリ」

予ねて七月中旬敵聯合軍英米ソ三巨頭で會議が統行され、八月十日前後より我國へ重大なる提議を爲したのであるが、其の條項は甚だしく屈辱的であると報導した。

小落語
○このシヤペウは誰なんだ?
△オランダ!

日本語を習いませう

よみかき、会話をおぼえておきますとたいへん とく をします

日本人のおじさんが、ある日本人の家をたずねて

「ごめん下さい」と云つたら出て来たのは、二十才近い、二世の娘さん

「Aさん、あなたの所にBさんという人来ませんでしたか」とたずねると、

二世の娘さん「うん、来たしそれをきいた日本人のおじさん いささかがっかり」

「お客さんに対する言葉使いを知らない二世娘さん、さく人がきいたら、何んて日本語を知らない人なんだらうと思つてしよう

○日本語を学んで、正しい日本語を使いませう。

朝八時・昼十二時・十三時・夜二十時の三部にわけて教授してあります。

公認バストス日本語学校

児童作文

「映画の夕べ」 西田淑子 (七)

私は、スールブラジルの映画「月夜のわたり鳥」を見に行きました。その映画の物語は、あるお母さんが、おとうさんをなくし、それでびんぼうにたえきれず、小さい子供に、書き置きをして家出をしました。その子供が、だんだん大きくなって、十八年目に、お母さんに、めぐり合うことが、できました。でもお母さんは、自分の子ではないといつて、うちあけてくれなかつた。といつかなしの物語でした。

この映画を見て、私が思ったのは、お母さんは、くろうして、びんぼうでもけつして、自分の子供を、すてたりは、していけないと思ひました。もしも、すてたりしたのでは、あとでおたがいに、すてまることがあるからです。

バストス短歌会十一月例会作品 一人二首ずつ

遠空は夕笛して長距離のバスにはかな、過ぎぬを日は
 清くにノ切り間際に書き上りし原紙の誤字が浮びくる夜半
 刷らされて此処も棲み処の鳥は放てと去らす籠も柳梢に

Olaria Taniguti
 C.P. 167
 Rinopolis



硬くて美しい白色
谷口のレンガ

建築・塀・井戸側に好適

谷口選 一
 リノポリス
 郵画 一六七

FOTO COMETA de

フォトコメタ



島本

バストス警察署御指定諸願書フォトはシマモト
 現在のすがたを
 永久に格調の高い島本の
 写真

電話 六三番

Fabrica de Granito
 Conserta - se Tumuro
 Avenida Rio Branco
 Adamantina

大西石碑工場

大西文吉 電話 五一五 郵画 二十三

古い墓石もコンセルタいたしました
 日本式 ブラシル式
 墓碑 記念碑
 胸像 石燈籠
 石 白 石材彫刻一切

御礼
 金一封宛
 右は亡夫君の香奠返しとして御寄附
 下さいました 深謝申上げます
 バンテランテ 区
 バンテランテ 婦人会

柳屋栄子様

わが書架に師の賜りし数冊が加わりて心豊ならしむ 羊鈴
 集金の旅を続けし香き日か頭を来て微熱の夜を自醒め居り
 朝までに止まねば雨具不足すと悲しむ事を口にする妻 美津男
 梅雨に似る雨に乾かぬ濯きもの妻は屋敷の種つくる石し
 幾百の全工員に枕む如自動ボイラー送りつづくる はやし
 蚕を守り生かす紐がわれを訪い見れる 新車鉄台盆めくり来て

リンス岡山重原女史のお話しが十一月廿一日夜八時半からバストス南米本願寺であります

Bastos

十一月廿二日(火)廿三日(水)
 日活 灼熱の椅子 和田浩治 香月美奈子 重水悟郎
 松原智恵子 山内 賢 平田大三郎
 十一月二十五日(金)二十六日(土)
 東宝 乱れる 高峰秀子 白川由美 草笛光子
 加山雄三 族 三枝 三益愛子
 十一月廿七日(日)二十八日(月)
 松竹 此の恋の叫び 俳優名不詳

Aviso de Cine

十一月二十九日(火)三十日(水)
 東宝 天然色 その場所に女ありて
 東宝 天然色 ハイハイ三人娘 伊藤ゆかり 高倉一志 長沢純
 十二月二日(金)三日(土)
 東宝 コロド 暗黒街の仁義 丹波 鶴田 アイジヨシ 天城 茂 中西孝子
 十二月四日(月)五日(月)
 東宝 コロド 血とダイヤモンド 室田 明 夏木陽介 佐藤元 水野久美
 中川ゆき

十一月二十一日夜八時半 バストス南米本願寺で岡山かある先生のお話しがあります

御詫びと訂正

畑中翁肖像会計報告及病院改築会計報告ほとんど同時に印刷をすることになり、「多忙のため」はいいわけになりませんが、色々誤植を生じ、皆様に御迷惑をおかけ致しました。深くおわび申上げます

金一封也
 右は故父上 豊様七日慰霊のミサを御世話申上げましたことに対し、金一封御寄附になりました。厚く御礼申上げます。
 十一月五日

東幸男様
 バストス 聖母婦人会

その二、この会計報告は会長と会計だけに名を絞ることになっていました。副の水島氏が記入されています。それなう副の水島氏が落ちていて、そのほか何かの抗議です。こもつともですが、何の気もなく水島氏の名を入れたのが、ちがいでした。こかへん下さい。
 その三、シヤカラ区内馬場氏二五〇〇〇が二五〇〇と誤記 本田氏同じく二五〇〇〇が二五〇〇と誤記
 その四、ホンス区計が十五、五〇〇と、十五〇〇〇と誤記

病院の部

発表簿 バンデララテ区 相原貴余志様一、五〇〇
 グロリア区 II 本田正一老様一七、〇〇〇
 カスカタ区 万谷 進様一〇、〇〇〇
 コチヤ村一回一〇三、〇〇〇は誤り一三〇、〇〇〇訂正
 シヤカラ区 十七ミット誤り一七一、〇〇〇と訂正

リンスの岡山かある先生のお話し 十一月二十一日夜八時半 バストス南米本願寺にて

産業総合中央会五〇〇〇〇は、グロリア区五五〇六、〇〇〇の中に含まれるのが正し、訂正
 バンデララテ 区阿部登様 一五〇〇誤り一〇〇〇が正し
 バンデララテ 梶原貴余志ハ 梶原福雄の誤り
 中興一組 梶山平治ハ 梶山半治ハ 誤り
 ニー 梶本信忠様 梶元忠信ハ 誤り
 三組 森康清ハ 森重 清ハ 誤り
 四組 梶山床平ハ 梶山茂平ハ 誤り
 海野遠道ハ 海野幸道ハ 誤り
 早川金美ハ 早川里美ハ 誤り
 山本正太郎ハ 木本正太郎ハ 誤り
 ホンス区 山崎 敬ハ 岩崎 敬ハ 誤り
 以上の通り訂正して、お詫び致します